



News 10月号 News 10月号

麻布M&Aセンター・株式会社叶光 (ToKo)

飯島総合会計事務所

発行人／飯島 一郎 今月編集者／内村 知子

〒106-0046 東京都港区元麻布3-2-19-4F

Tel : 03-5775-1631 Fax : 03-5775-1632

URL : <http://www.is-tax.co.jp/>

☆テレワークと経理☆

営業職や接客業と比べ、デスクワークが多い経理の仕事は内勤の為、テレワークしやすいように見えて、実はテレワークの導入のハードルが高いのが現状です。では、なぜテレワークは難しいか、経理のテレワークを阻むものは何かなど検討し、仕事のパフォーマンスを上げ、導入を考えていきましょう。

☆経理業務とは☆

経理・財務会計業務は大きく分けて以下の5点になります。

- 請求書の作成・押印・発送
- 請求書の受け取り
- 契約書類の押印・発送
- 取引先への振り込み・入金の確認
- 決算対応

テレワーク化をしたことにより、会社にとっては業務効率の実現・人材獲得・企業変革・オフィスコストの削減というメリットがあり、従業員にとっては、ワークライフバランスの実現、業務効率の実現、社会的にもいい影響が見込まれます。

☆経理部門のテレワークを進めるための準備☆

では、経理部門のテレワーク化を進めるためにはどのような対応を検討しなくてはならないでしょうか。まず、テレワークに必要な機材や環境は大きく分けると以下の3つに分類されます。

- 情報通信システムの構築
- テレワーカーに必要な機材
- 労働時間の管理方法や就業規則

そして、上記や機材や環境について考えると同時に、会社内部の整備も必要になってきます。

まず、一番に考えなくてはならないことは、紙資料の電子化、ペーパーレス化となります。そして会社に合ったクラウドソフトの導入の検討・社内コミュニケーションツールの導入などの選定は必須となります。一方テレワークを実現する為にはデメリットもあります。テレワーク化を導入する為にはコストがかかること、IT知識の不足による運用のトラブルです。

当事務所でも、順次テレワークを進めており、まだすべての業務がテレワーク出来ているわけではありません。ただ、政府としても契約書の印鑑を不要とする方向にあり、デジタル化を促進する為に動いております。これを機に皆様と一緒に業務改善していきたいと考えておりますので、業務変更前に一度担当者にご相談していただきたいと思います。

☆コラム(飯島のつぶやき) ☆

継続できる運動

日本では100歳を超える人が8万人を超えたそうです。

人生100年時代がいよいよまさに、近づいています。多くの方は「健康で長生きしたい」「人に迷惑をかけたくない」と思っているはず。

しかし、現在の100歳以上の人のなかでお風呂に一人では入れるのは、全体の22% (男性28%、女性16%)なので、全面介助でなくともやはり誰かのお世話になってしまう人が多いのです。

しかし、100歳以上の人は、8割が女性で長生き率は高いのですが、100歳上のおじいちゃん、おばあちゃんを同じ割合(50・50)でリサーチすると、男性のほうが女性よりも介助率が低いという結果が出ているのです。

つまり、おじいちゃんのほうが一人で歩いて一人でお風呂に入れる割合が高い。転倒による骨折もおじいちゃんよりおばあちゃんのほうが多い。

ごくごく一般的な傾向で言うと、女性よりも男性のほうが元々の筋肉量が多いなど要因があるのかなと思います。

コロナになって、リモートになったことで辛い通勤電車からも解放され、大変な世の中であるけれどちょっと楽になった人もいると思うのです。

でも、いったん楽になると、通勤がまたスタートした時に、以前よりしんどさが増すこともあるわけです。

前は普通だったことが、今では苦痛になることがある。

実は通勤の移動っていい運動だったのでは？

そもそも決まった時間に強制的に毎日続けることができるのが、「通勤」です。これを多くの人が継続できる「運動」と思えば通勤も捨てたもんじゃありませんね。

今月の一言

『大変と言うのは実は困ったことではない！』

巷では、「大変なことになってきている」、「困った」と言って、何も考えない、何も手につかないという方が増えています。

しかし、大変と言うのは実は困ったことではありません。その字のとおり、時代が大きく変わってきたのです。今までの経験が役に立たないことも出てきます。

だからこそ、今何が必要とされているか、何ができるのかを考え、その大変の節目の中で生きる力を学びましょう！